

## トンネルの貫通石を活用した取り組みを実施しています！

### 貫通石のプレゼント

県北建設事務所では、1月10日（木）～11日（金）にトンネルの貫通石のプレゼントを実施しました。これは、ふくしま復興再生道路整備の一環で工事を進めている国道114号 泡吹地トンネルが平成30年11月に貫通したことを記念して実施しました。貫通石プレゼントは、福島県では初の取り組みです。

貫通石は、「安産」や「受験合格」、「大願成就」などのお守りとして、建設業界においては昔から知られています。この良いイメージを建設業へあまり馴染みのない方にも広く伝えるとともに、建設業への理解促進を図るため、今回のプレゼントを企画しました。

「川俣町おりもの展示館」のご協力のもと、川俣町特産の絹製巾着袋も50個限定で準備し先着にて配布しました。



プレゼントした貫通石と巾着袋

貫通石は当初200個の配布を予定していましたが、新聞・テレビ等で取り上げて頂いたこともあり、当日の反響があまりに大きく当初予定数がすぐ無くなる見込みとなりました。しかし、一人でも多くの方に配布できるよう、急遽予定数を増加して2日間の配布を行いました。その結果、最終的に約800個の貫通石を340名へ配布することができました。足を運んで頂きました多くの方々に感謝を申し上げます。



北は仙台市、南は白河市から来て頂きました。



多くの方に建設業のPRができました。

### 中学校での貫通石の展示

同じく貫通石を活用した取り組みとして、平成30年12月12日（水）より、貫通した泡吹地トンネルがある川俣町内の2つの中学校（川俣中学校、山木屋中学校）で貫通石の展示を実施しています。

貫通石に直接触れて御利益を得ることで、高校受験などの苦難に立ち向かう中学生が100%の力を発揮して大願を成就できるようにとの思いから展示を行っています。また、道路やトンネルに愛着をもち、建設業への理解促進と担い手の確保につなげる事を目的としています。

学校からは、「受験生にとって大きな励みに。また、学校近くの道路整備工事への理解を深める良いきっかけとなった。」とのコメントを頂いています。

皆さんにとって良い結果が訪れますよう願っています！



川俣中学校に展示している貫通石

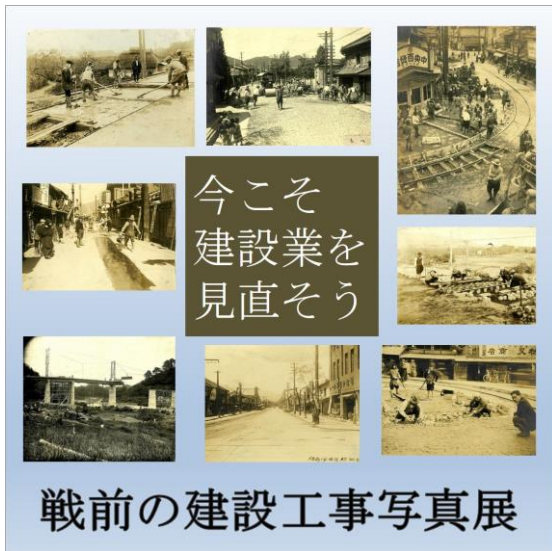
（裏面に続きます！）

# 「戦前の建設工事写真展」をコラッセふくしまで開催しました！

県北建設事務所では、活力ある建設業の実現へ向けて「建設業の魅力」をあらためて伝える取り組みとして、1月31日（木）から2月5日（火）に、コラッセふくしま1階アトリウムで「戦前の建設工事写真展」を開催しました。展示期間中には、老若男女問わず多くの方にご覧頂きました。

展示された写真は、昭和10年頃に撮影されたもので、現在の福島市や川俣町等で行われた道路・橋りょう等の工事記録がわかるものです。これらの写真は、社会資本が多くの人々の手によって丁寧に整備され、その結果として地域の発展に大きく貢献し、地域の皆さまの生活を豊かにしてきたという「歴史的な経過」を私たちに伝えてくれるものです。また、当時と同じ位置から撮影した現在の写真やエピソードを加えた説明資料を併せて掲載することで、「建設業の魅力」をよりわかりやすく感じて頂けるよう工夫しました。

ご年配の方には、昭和初期の街並みや生活の状況などを懐かしんで頂き、若い世代の方には、現代と異なる街並みや、当時の建設工事の状況を新鮮に感じて頂けたようでした。



期間中多くの方にご覧頂きました。



「建設業の役割」を再認識したとの声が多数ありました。



当時の街並みを懐かしんで頂きました。

なお、3月には県立図書館での展示も予定しています。興味のある方はぜひお越しください。

また、当事務所では記録写真を活用した取り組みとして、「今昔フォトギャラリー」をホームページ上に開設し、「建設業の魅力」の発信を行っています。

ぜひご覧になってみてください。

県北建設 今昔フォトギャラリー

検索

福島県県北建設事務所 企画調査課

TEL 024-521-2513 FAX 024-521-2848

HP <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41310a>

